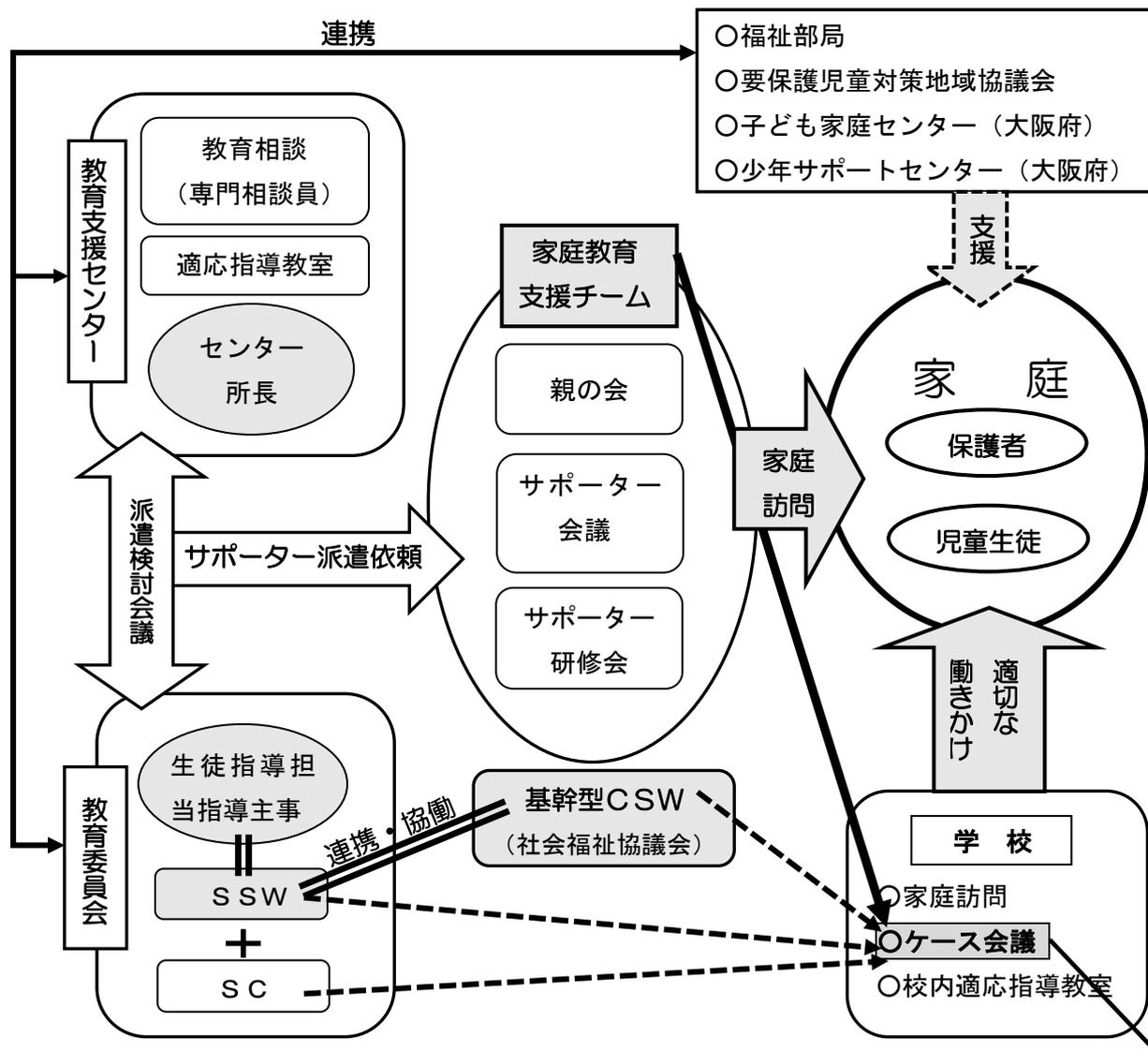


平成29年度
泉大津市家庭教育支援チーム推進プラン
(素案)

平成28年11月28日

泉大津市教育委員会

[平成28年度 泉大津市訪問型アウトリーチ家庭教育支援事業図]



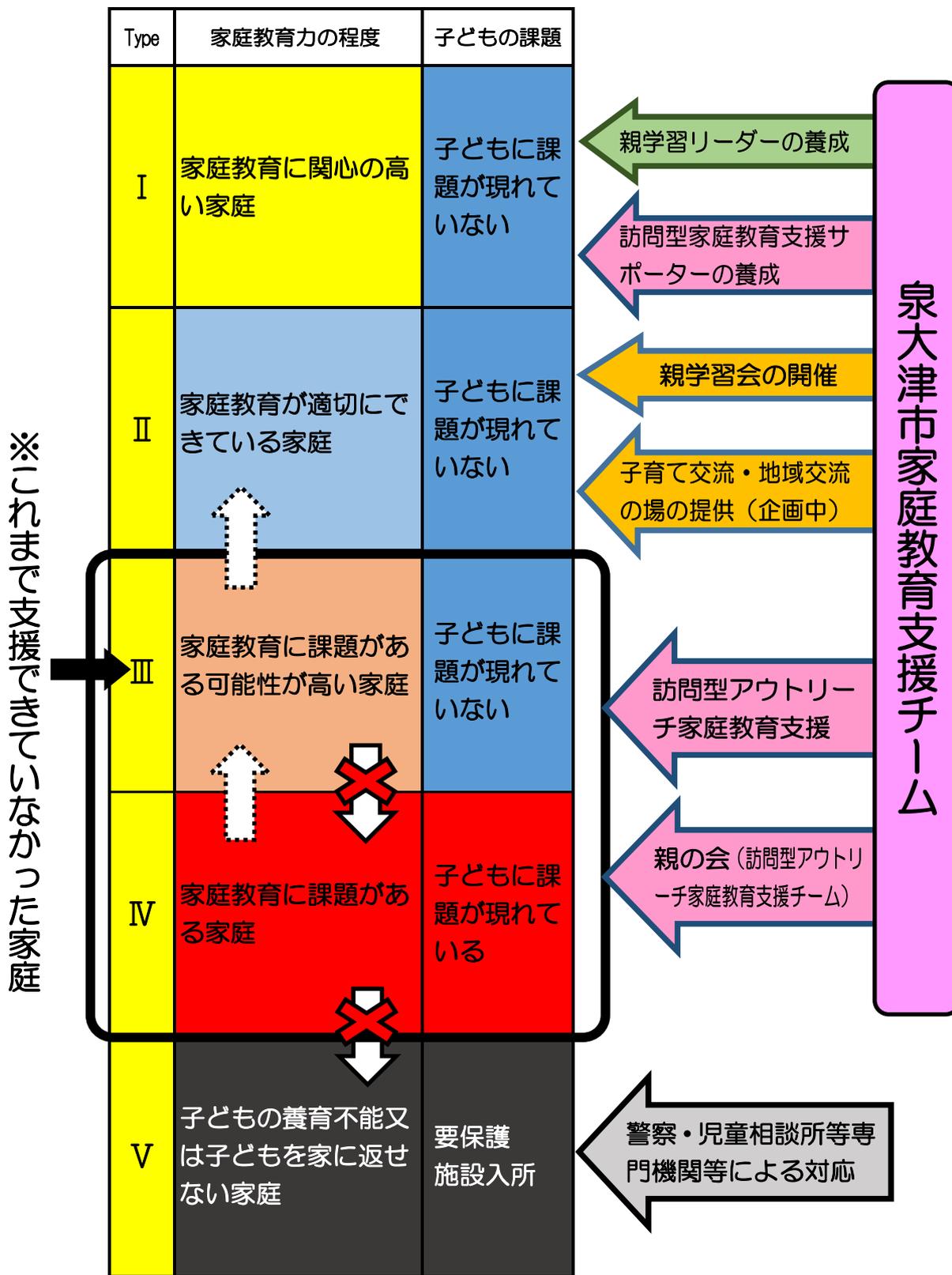
家庭教育支援サポーターが参加する連携会議・協議会

会議名	参加者
サポーター会議 (毎月第1月曜)	サポーター全員・SSW・CSW・指導課
家庭教育支援 連絡会	チームリーダー・SSW・CSW・指導課・こども未来課
家庭教育支援 地域教育協議会	府教育庁・府チーフSSW・チームリーダー・CSW・指導課・こども未来課・教育支援センター相談員・教育支援センター指導員・校長会
ケース会議	チームリーダー・派遣サポーター・(指導課・福祉部局・CSW・SC)

- ◇アセスメント
- ◇長期・短期目標
- ◇役割分担
(次回までにすること)

平成29年度家庭教育支援プラン(素案)

1 家庭教育力の状況に応じた家庭教育支援チームのアプローチ



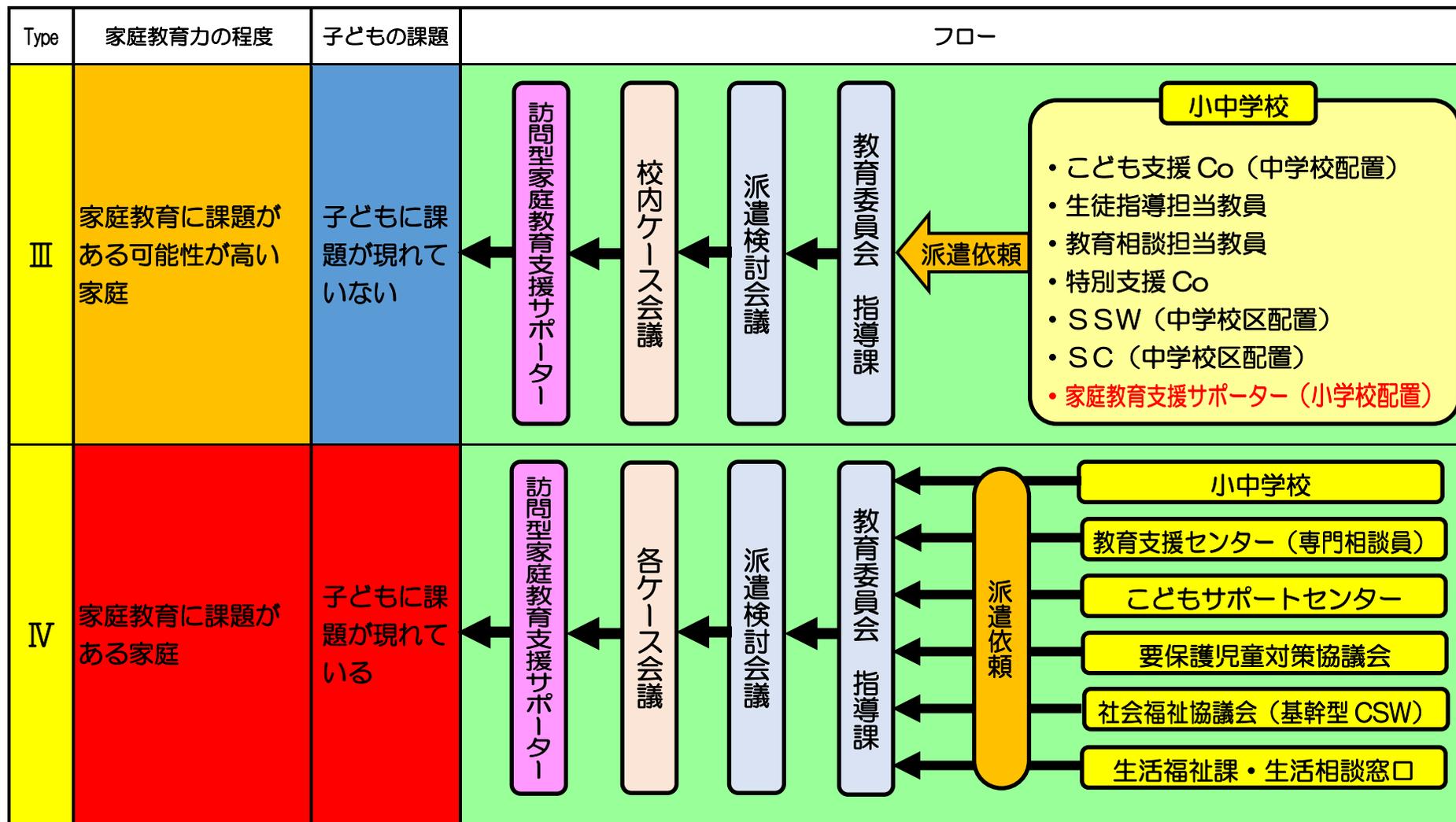
平成29年度家庭教育支援プラン(素案)

2 Type I・IIへの家庭教育支援策と支援人材の養成(教育委員会 生涯学習・課指導課)

Type	家庭教育力の程度	子どもの課題	支援策
I	家庭教育に関心の高い家庭	子どもに課題が現れていない	生涯学習課 家庭教育支援スキルアップ講座(大阪府教育庁) 親学習リーダー交流会(大阪府教育庁) → 親学習リーダーの養成
			指導課 訪問型家庭教育支援員養成講座(大阪府教育庁) 日本プロカウンセリング協会 泉大津校 → 訪問型家庭教育支援サポーターの養成
II	家庭教育が適切にできている家庭	子どもに課題が現れていない	親学習講座【北公民館】・親学び講座【南公民館】(市広報で公募) 親学習ワークショップ【泉大津市PTA母親代表研修会】 親学習「夢や希望を育む子育て」in OO小学校【小学校保護者対象】 生涯学習課

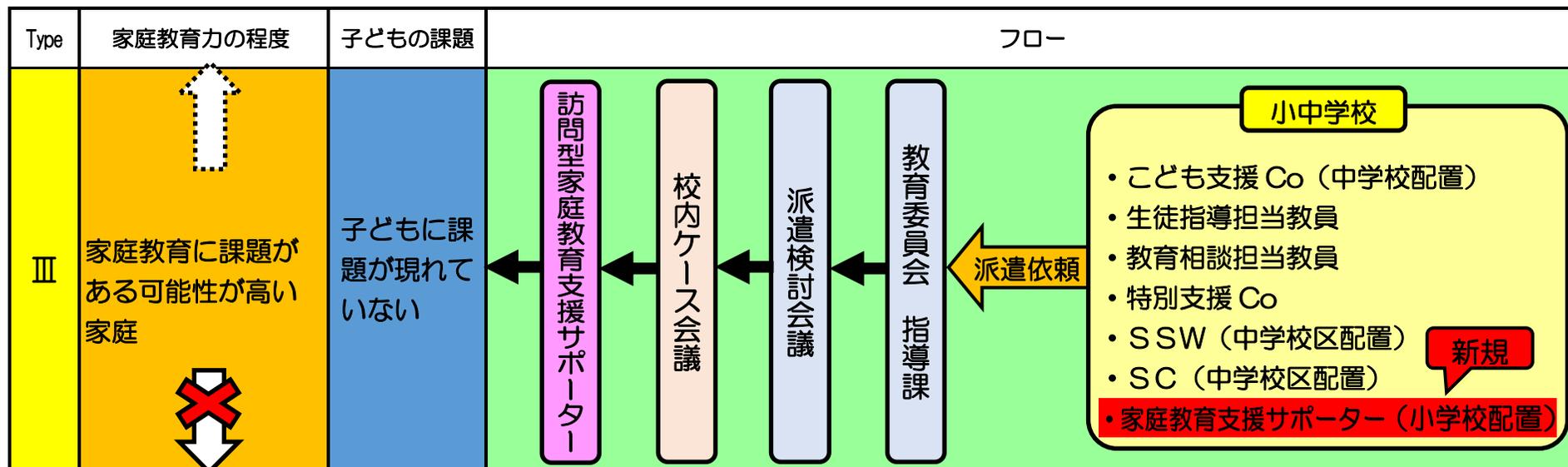
平成29年度家庭教育支援プラン(素案)

3 Type III・IV家庭への訪問型アウトリーチ家庭教育支援のフロー



平成29年度家庭教育支援プラン(素案)

4 タイプⅢへのアウトリーチ支援の必要性と(新規)小学校配置型家庭教育支援サポーターの役割



【タイプⅢへの支援がなぜ必要か?】※従来から訪問型アウトリーチ家庭教育支援は小学校のニーズが高い

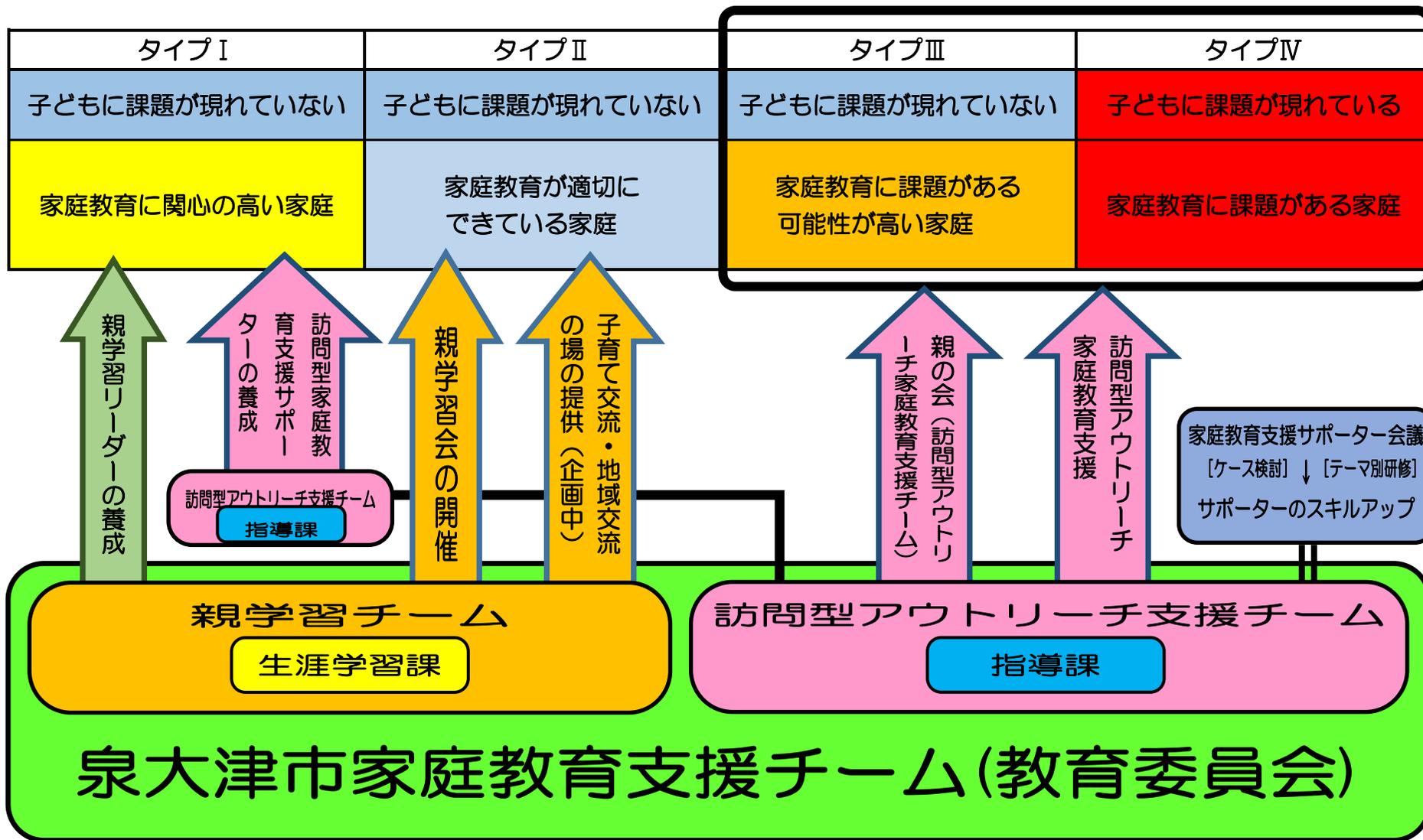
- 家庭教育に課題がある可能性が高いが、表面的(学校で)に子どもに課題が現れていないため、今まで訪問型アウトリーチ家庭教育支援の対象になっていなかった。
- タイプⅢは、子どもの年齢が上がるにつれて、タイプⅣに移行する可能性が高く、タイプⅣへの移行を止めることで、子どもの不登校や暴力行為、窃盗、深夜徘徊等の未然防止を図ることができる。
- タイプⅢは、訪問型アウトリーチ家庭教育支援を行うことで、タイプⅡへの移行する可能性があり、適切な家庭教育力のある家庭が増え、地域の教育力の向上を図ることができる。

【タイプⅢの家庭をどう見極めるか?】※可能性のある家庭を抽出し、家庭訪問を経て校内ケース会議でアセスメント

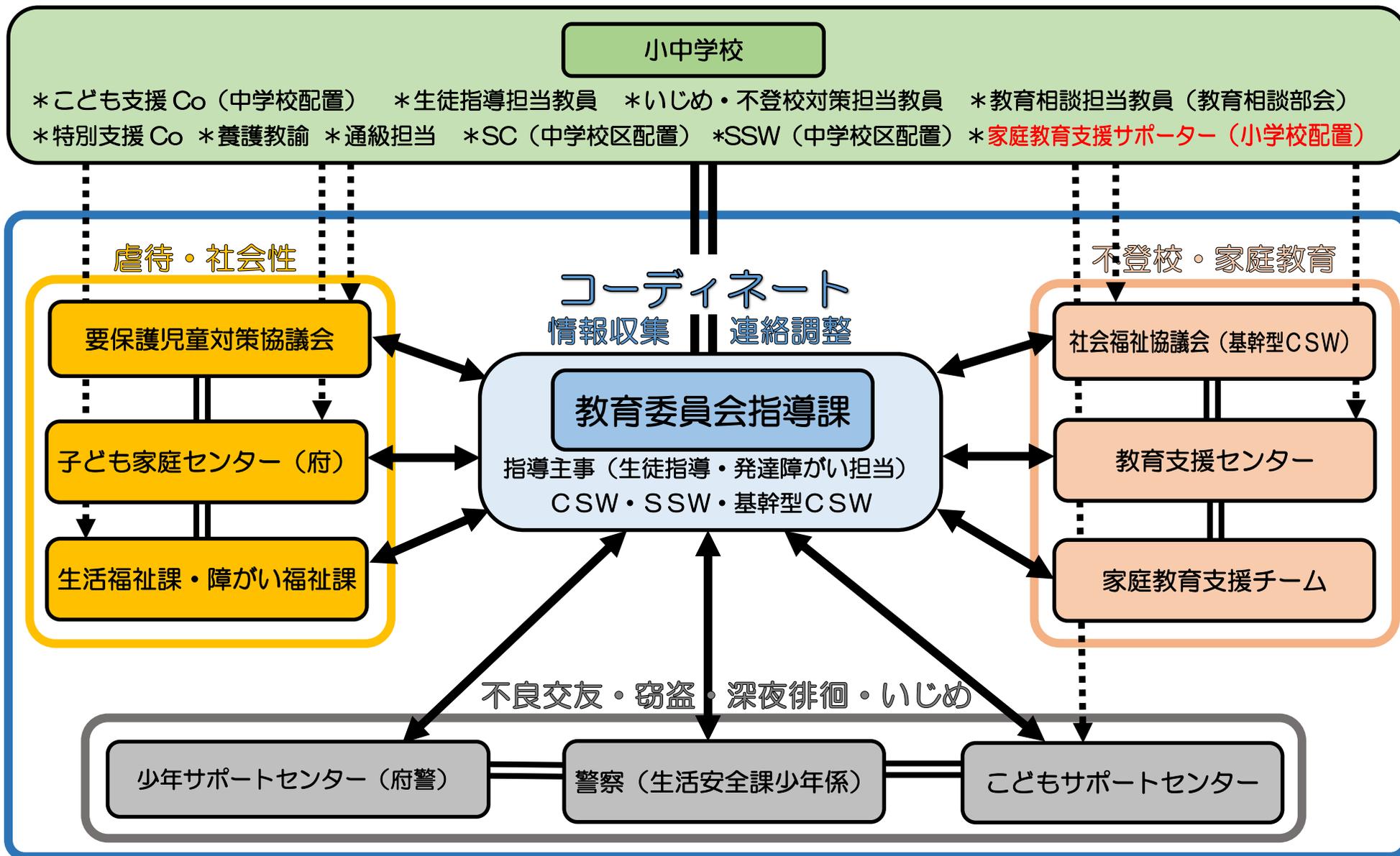
- 教職員と小学校に配置した家庭教育支援員が情報を共有するとともに、SSWやSCの見立ても踏まえ抽出する。
- 抽出した家庭への家庭訪問を経て、校内ケース会議でアセスメントし、必要であれば教育委員会へ派遣依頼する。

平成29年度家庭教育支援プラン(素案)

5 泉大津市家庭教育支援チーム全体図と担当部局・担当課



泉大津市こどもサポートネットワーク



泉大津市こどもサポートケース移行システム

